



投資家向けIRセミナー 「ブリッジサロン」

～プラットフォーム企業への進化～

2024年9月14日

株式会社ブロードリーフ

東証プライム 3673

自己紹介

建設産業のIT導入を牽引したのち、モビリティ産業のDXを推進



代表取締役社長
大山 堅司

1968年9月生まれ
鹿児島県出身

建設産業

- 1987年4月 ビーイング（土木工事積算ソフトの開発会社）の設立に参画
- 1996年12月 米シリコンバレーにBeing Investment Corpを設立 CEOに就任
- 1999年10月 ビーイングが東証JASDAQ上場※
- 2000年7月 ビーイングの取締役副社長に就任

※ 2021年6月、MBOにより株式非公開化

モビリティ産業

- 2005年10月 アイ・ティー・エックスの顧問に就任 ITX翼ネット（現ブロードリーフ）の創業を支援
- 2006年1月 ブロードリーフ取締役副社長に就任
- 2006年6月 ブロードリーフ代表取締役社長に就任 現在に至る

1	会社紹介	・ ・ ・	P 4
2	成長戦略	・ ・ ・	P10
3	株式投資の観点	・ ・ ・	P19
4	ご参考情報	・ ・ ・	P24

注記：西暦表記は各社の事業年度を表します

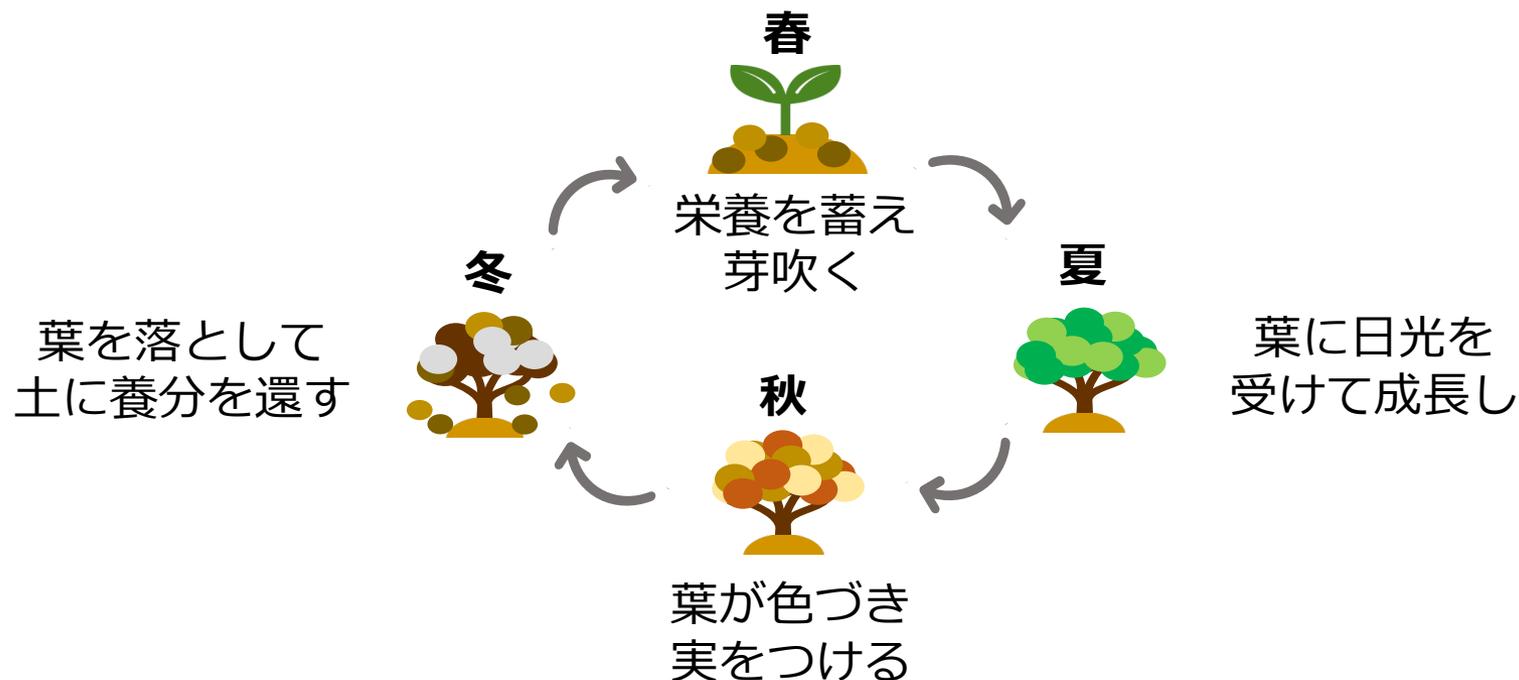
1	会社紹介	・ ・ ・	P 4
2	成長戦略	・ ・ ・	P10
3	株式投資の観点	・ ・ ・	P19
4	ご参考情報	・ ・ ・	P24

(1) 社名に込めた想い

ブロードリーフ (Broadleaf) とは広葉樹のことです

広葉樹の多くは春から夏にかけて葉に日差しを受けて成長し、冬には葉と実を落として土に養分を返します。その循環がさまざまな動植物と共生できるフィールドを育むのです。

ビジネスの大地に一本の広葉樹として根をおろし、葉を茂らせ、実をつけ、お客さまをはじめとするすべての人々とともに未来へと成長を続けたい。ブロードリーフという名にはそのような気持ちが込められています。



(2) 企業理念

感謝と喜び

ブロードリーフは『感謝と喜び』という人や企業が深く結びつくために欠かせない“心”を大切に、お客さまとともに繁栄するビジネスを進めています。

私たちの商品やサービスがお客さまの事業に貢献する時、お客さまに「ブロードリーフとつきあって、よかった」と感じていただけるでしょう。そして事業が日々成長する実感に喜びが生まれることでしょう。

そのようなお客さまの心を受けて私たちにも『感謝と喜び』が生まれ、よりよい商品やサービス、社会への価値提供につながっていきます。

企業理念

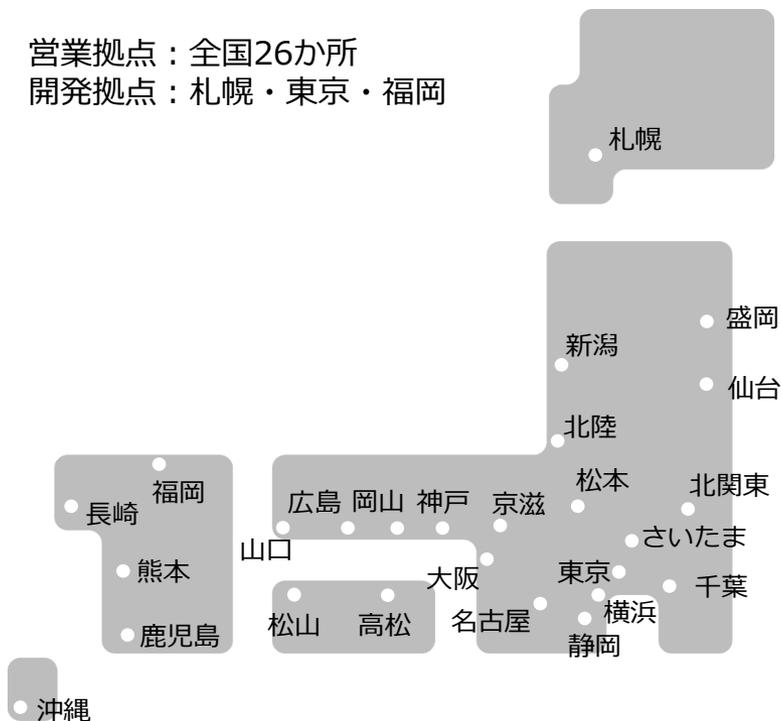
『感謝と喜び』の心を根本に、幅広い業種・業界に特化した業務アプリケーションを開発し、より良い製品・サービスを提供することにより、お客さまの事業創造に貢献いたします。

(3) 事業概要

企業向け総合ITサービスを全国展開しています 業種固有の業務プロセスを効率化する業種特化型ソフトが主力商品です

営業拠点・開発拠点

営業拠点：全国26か所
開発拠点：札幌・東京・福岡



業種特化型ソフト

(画面イメージ)



(4) お客様業種

約9割がモビリティ産業に属する業種です
なかでも、自動車の点検・整備や修理を行う整備業が多数を占めています



(5) 皆さまとの接点

車検や修理の見積書、旅行会社の旅程プランなど
ブロードリーフの業務ソフトを使って作成されています

自動車をお持ちの場合



車検に出す時に…



整備業者



車検見積書の作成

旅行を検討される場合



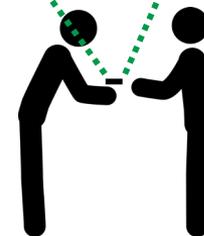
プラン比較の時に…



旅行業者



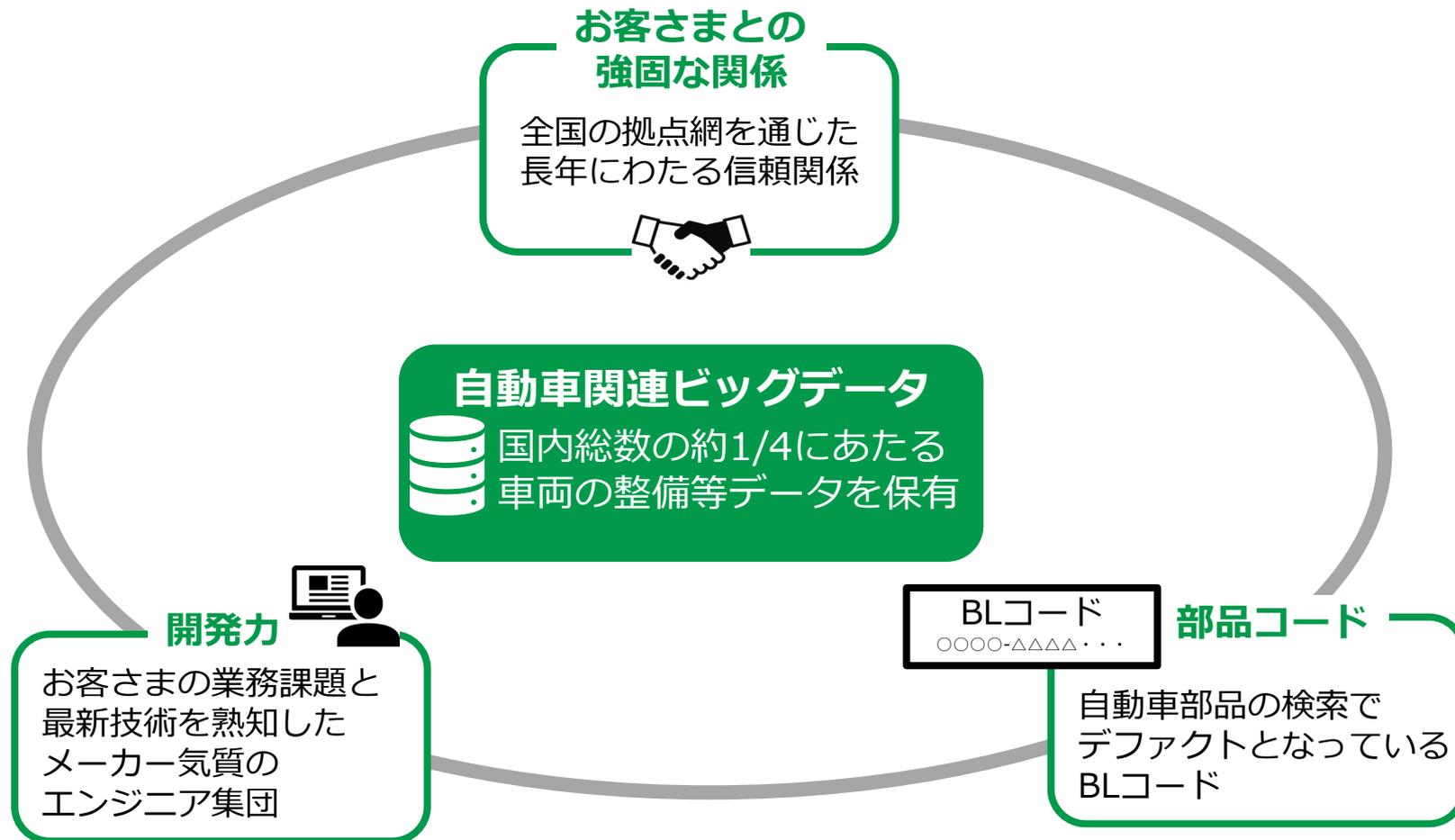
旅程プランの作成



1	会社紹介	・ ・ ・	P 4
2	成長戦略	・ ・ ・	P10
3	株式投資の観点	・ ・ ・	P19
4	ご参考情報	・ ・ ・	P24

(1) 成長エンジン

他社の追従を許さない競争優位性により蓄積された
唯一無二の自動車関連ビッグデータが成長エンジンとなります



(2) プラットフォームサービスの展開

業務ソフトなどの独自サービスをクラウド化（SaaS化）のうえ強化、他のサービス事業者へのプラットフォームサービスの展開も始めました

ブロードリーフの独自サービス



競争力の
更なる強化

モビリティ関連のサービス事業者

モビリティサービス



周辺サービス



プラットフォームサービス
として提供



IT環境



基本機能



自動車関連
ビッグデータ



Broadleaf Cloud Platform (BCP)

(3) 経済圏の拡大

モビリティ関連の事業者全体へとサービス提供先が拓け
お客さま業種が多様化するとともに産業規模が一気に拡大します

ブロードリーフ経済圏の拡大

産業規模
数百兆円

モビリティサービス



新交通



物流



シェアリング



旅行



車両サービス

ハード関連



完成車
部品

周辺サービス



決済



保険



エネルギー

産業規模
約10兆円



整備業・钣金業



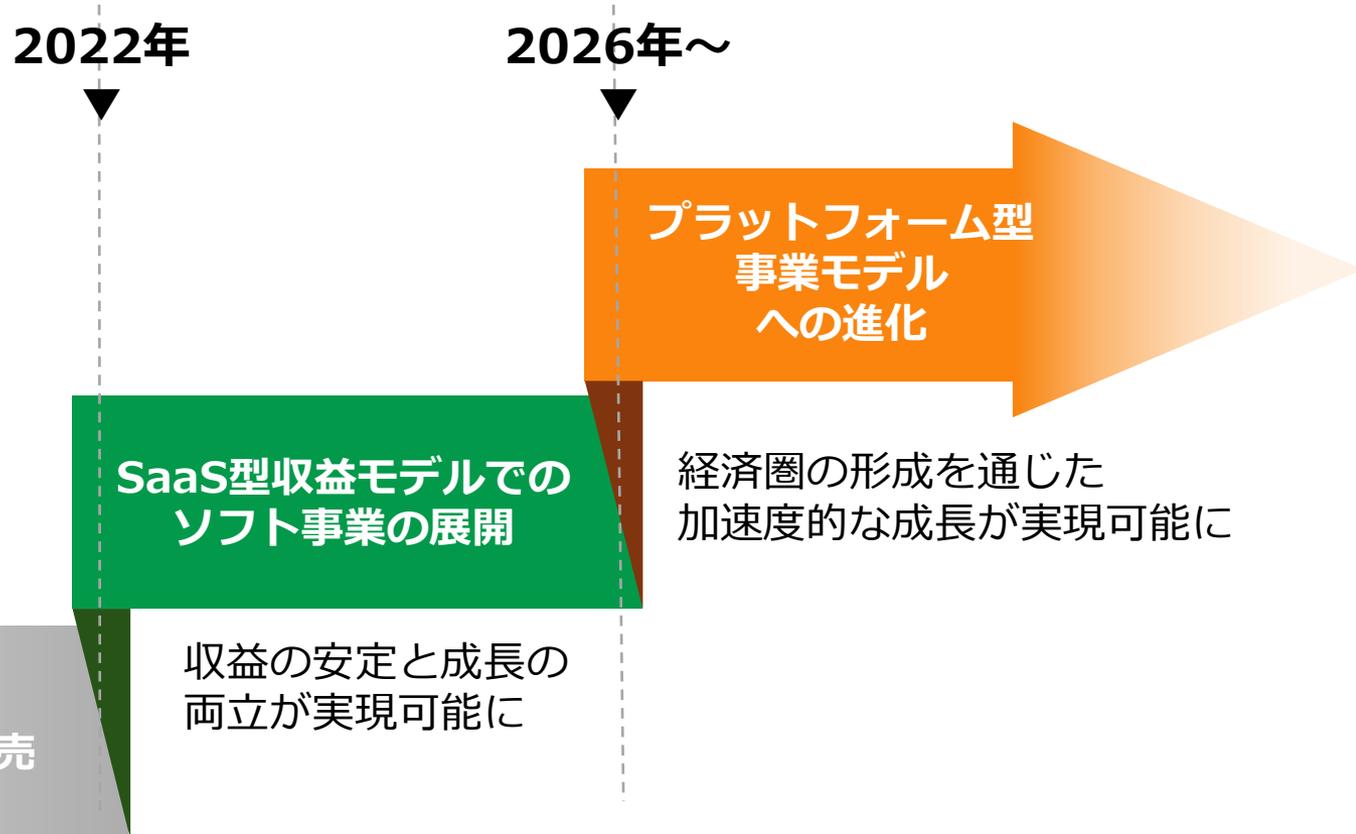
車販業



部品商

(4) 時間軸

- 2022年
 - ・ ソフト事業においてSaaS型に収益モデルを転換
 - ・ プラットフォームサービスの順次提供を開始
- 2026年～
 - ・ モビリティ関連サービス産業での経済圏拡大が進み、プラットフォーム型事業モデルへの進化が加速



(5) クラウドサービスの売上計画

プラットフォームサービスの売上は、現時点における不確実性のため、計画値に含めていません（今後合理的な算定が可能となれば、速やかに公表します）

プラットフォームサービス

注) 売上計画値には含まれていない

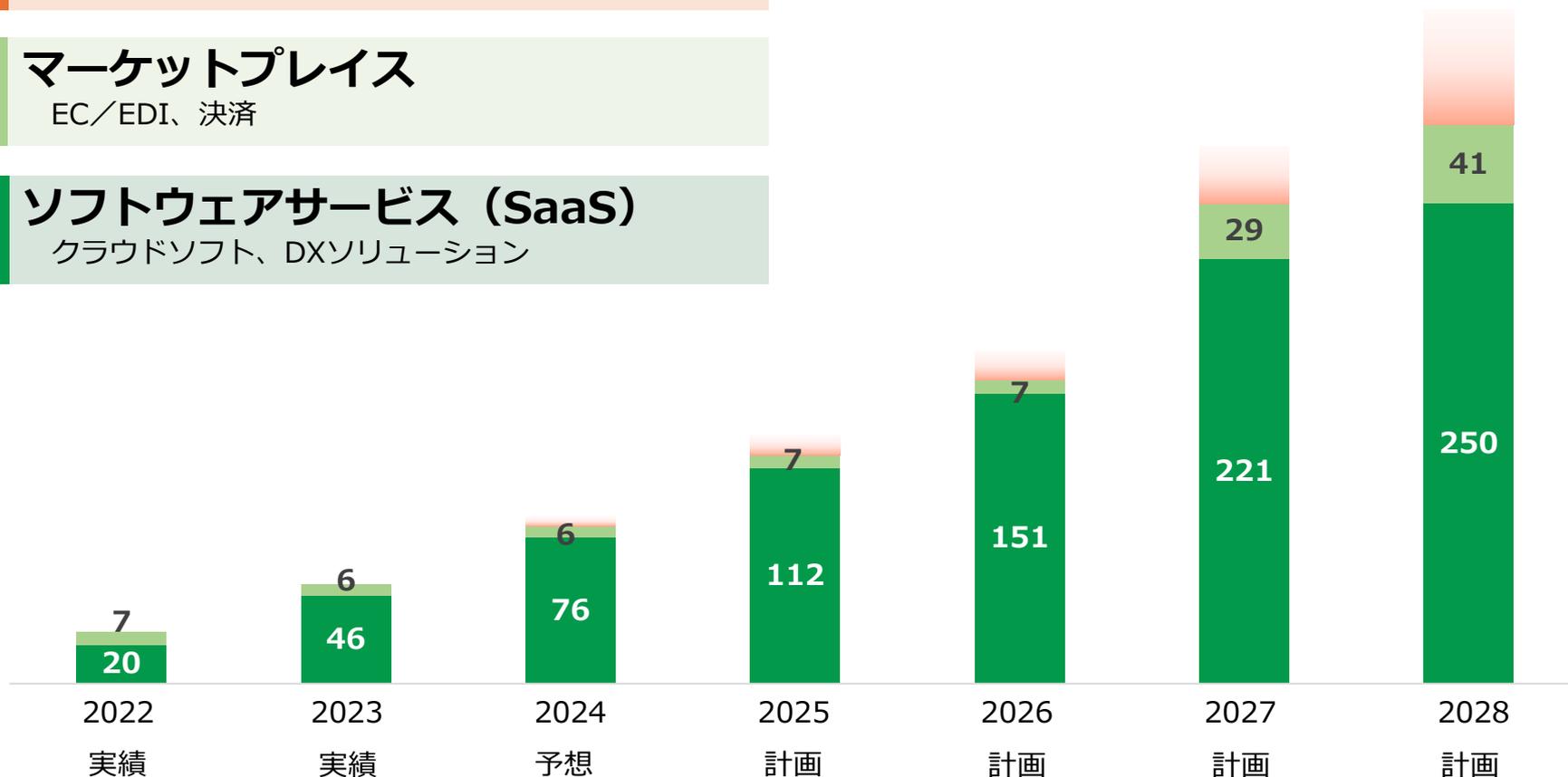
マーケットプレイス

EC/EDI、決済

ソフトウェアサービス (SaaS)

クラウドソフト、DXソリューション

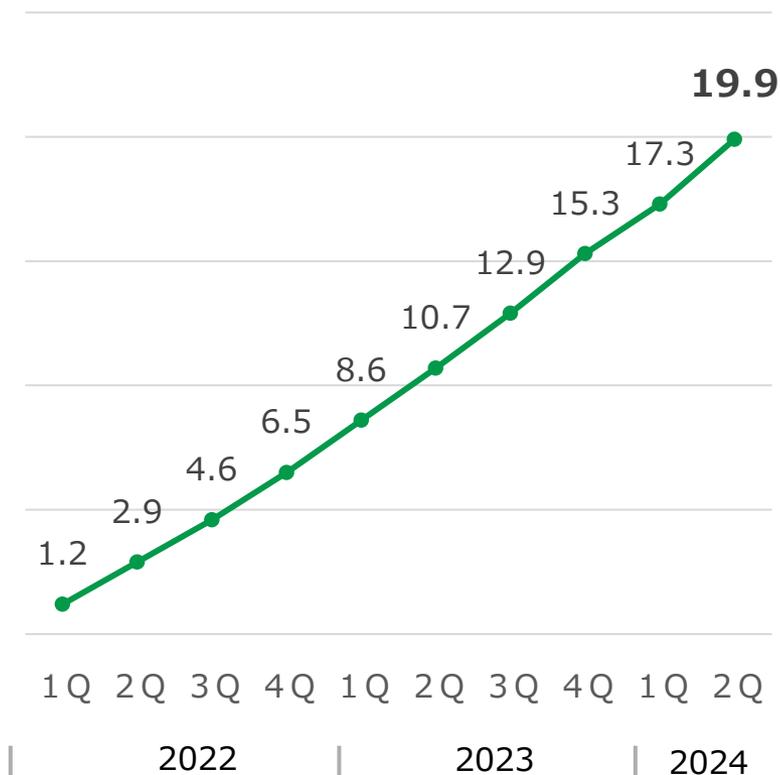
(億円)



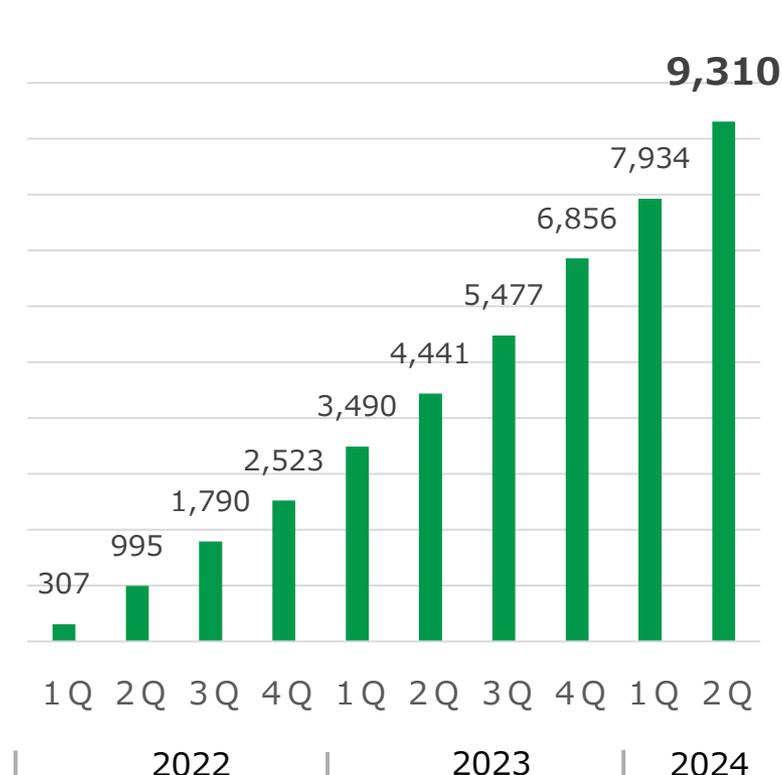
(6) クラウドソフトへの移行状況

ソフトウェアサービス (SaaS) 売上は、
お客さまによるクラウドソフトへの移行期間において増収が継続します

クラウド化率 (%)



ライセンス数 (標準版)



(7) 業績計画

モビリティ産業のお客さまによるクラウドソフトへの移行は、
2028年末に完了する計画です（クラウド化率100%）
非モビリティ産業向けにはパッケージシステムを引き続き提供します

(億円)	2022 実績	2023 実績	2024 予想	2025 計画	2026 計画	2027 計画	2028 計画
売上収益	138	155	176	205	240	290	325
クラウドサービス	26	52	82	118	157	250	291
パッケージシステム	112	101	94	87	83	40	34
営業利益*	-29	-19	0.5	15	48	100	130
親会社の所有者に 帰属する当期利益*	-24	-15	0.9	10	32	63	80

*-は損失

2024年予想、2025年、2026年計画は2024年2月9日公表数値になります。

(8) 配当

配当方針は「連結配当性向35%以上」です
今後もこの水準を目処に、配当を実施していく予定です

過去最高業績



最高業績を更新



(億円)	2018 実績	2019 実績	2020 実績	2021 実績	2022 実績	2023 実績	2024 予想	2025 計画	2026 計画	2027 計画	2028 計画
親会社の所有者に 帰属する当期利益*	27	31	23	22	-24	-15	0.9	10	32	63	80
連結配当性向	39.5%	36.7%	46.9%	35.2%	—	—	—				
一株当たり配当金 (中間)	5.5円	6.5円	6.6円	4.0円	0.0円	0.0円	0.0円				
一株当たり配当金 (期末)	6.5円	6.5円	6.6円	4.7円	1.0円	1.0円	2.0円				
一株当たり配当金 (年間)	12.0円	13.0円	13.2円	8.7円	1.0円	1.0円	2.0円				

*-は損失

2024年予想、2025年、2026年計画は2024年2月9日公表数値になります。

1	会社紹介	・ ・ ・	P 4
2	成長戦略	・ ・ ・	P10
3	株式投資の観点	・ ・ ・	P19
4	ご参考情報	・ ・ ・	P24

(1) 収益モデルをSaaS型に転換した企業例

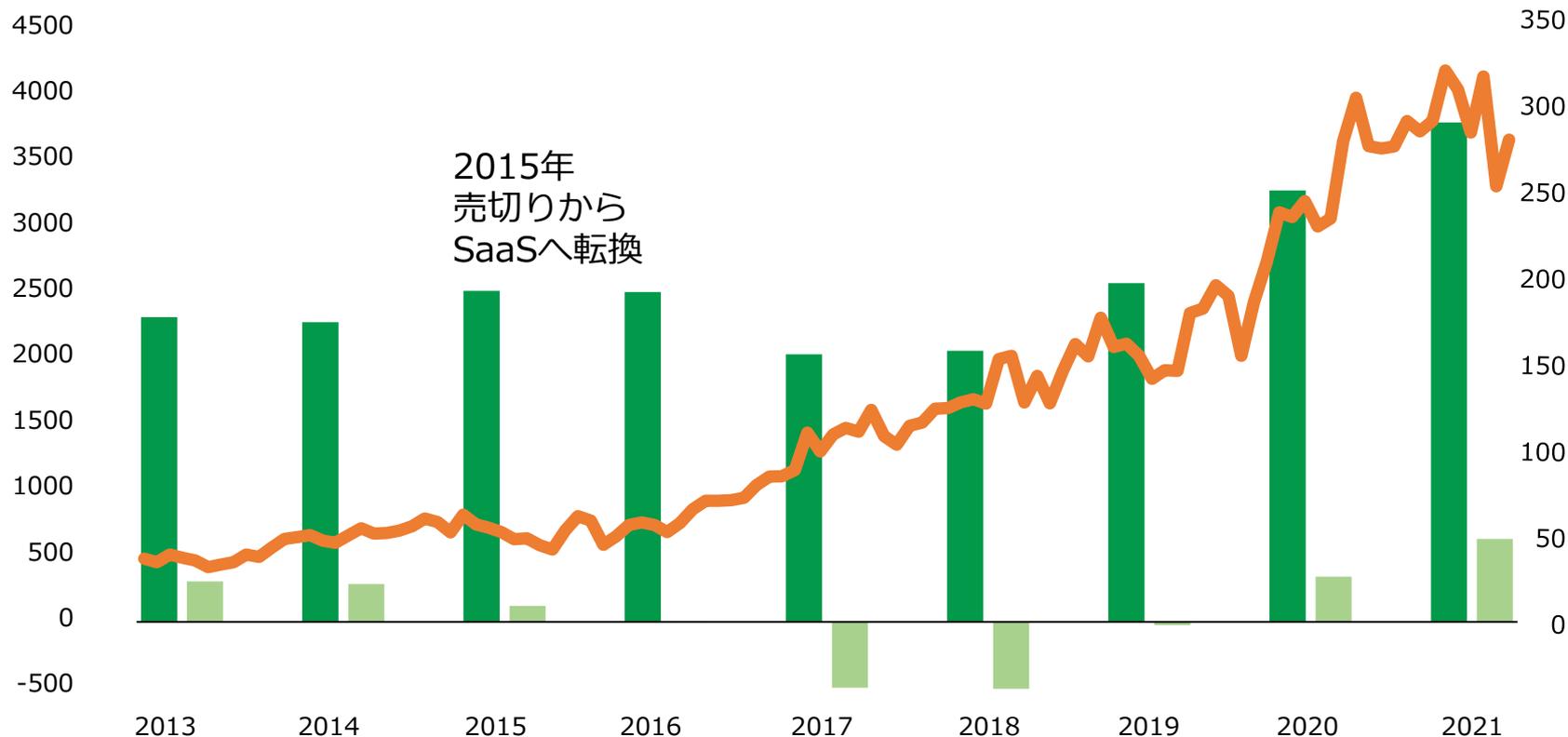
主力の業務ソフトを一時点において、すべてSaaS（サブスク）型に切り換えた事例は国内にないと思われるため、海外の事例を挙げます

Autodesk Inc.

設計・製図を行う業務ソフト（CAD）を提供している企業

売上
営業利益
(百万US\$)

株価
売上
営業利益
株価
(US\$)

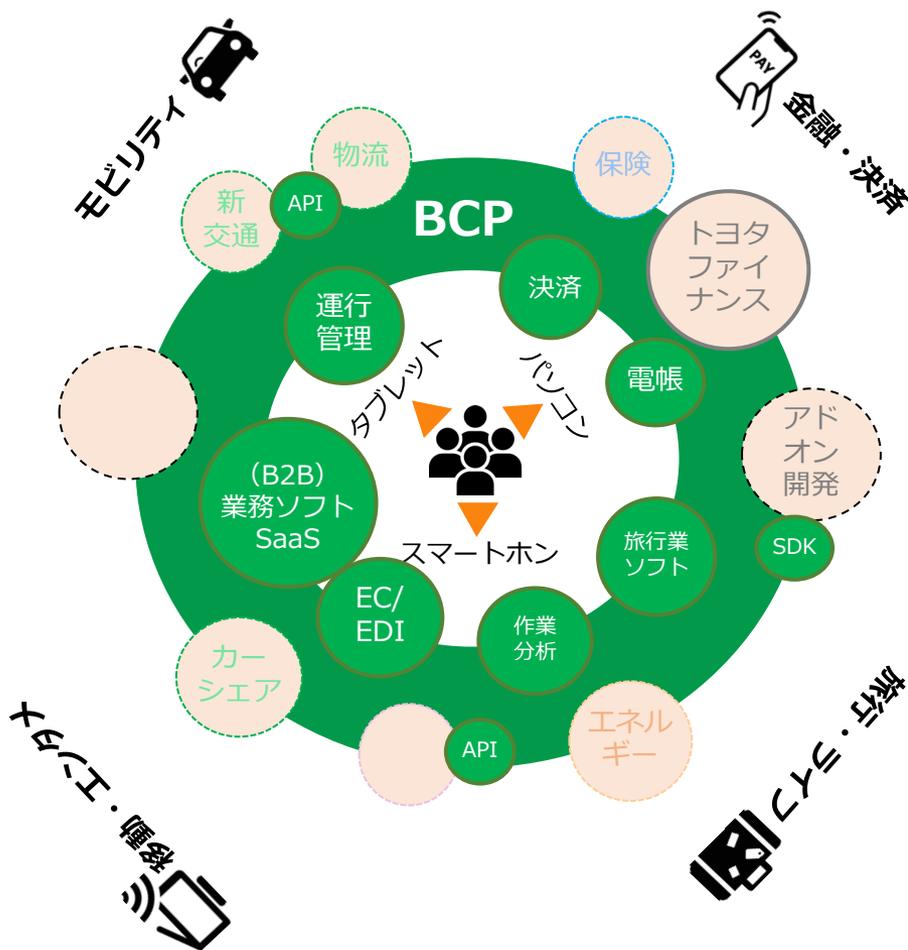


(2) 事業モデルを進化させた企業例①

SaaSモデルを進化させてプラットフォーム企業となった前例はなく、米アップルによるiOSをベースとしたサービス展開が類似例と考えます

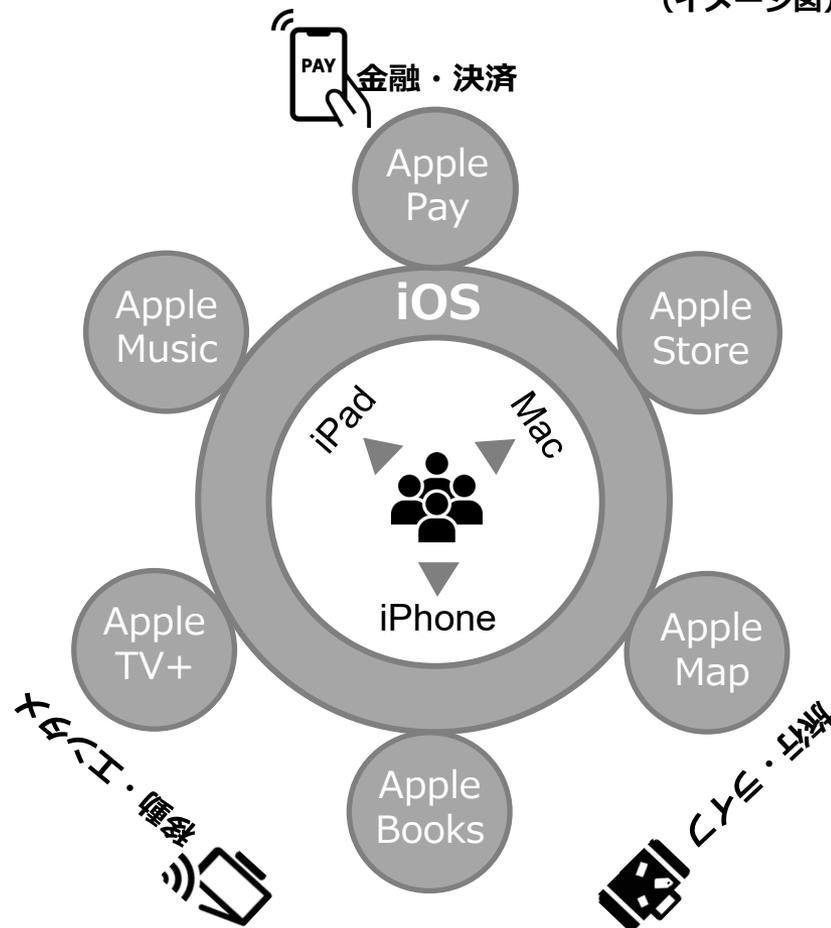
ブロードリーフ経済圏

(イメージ図)



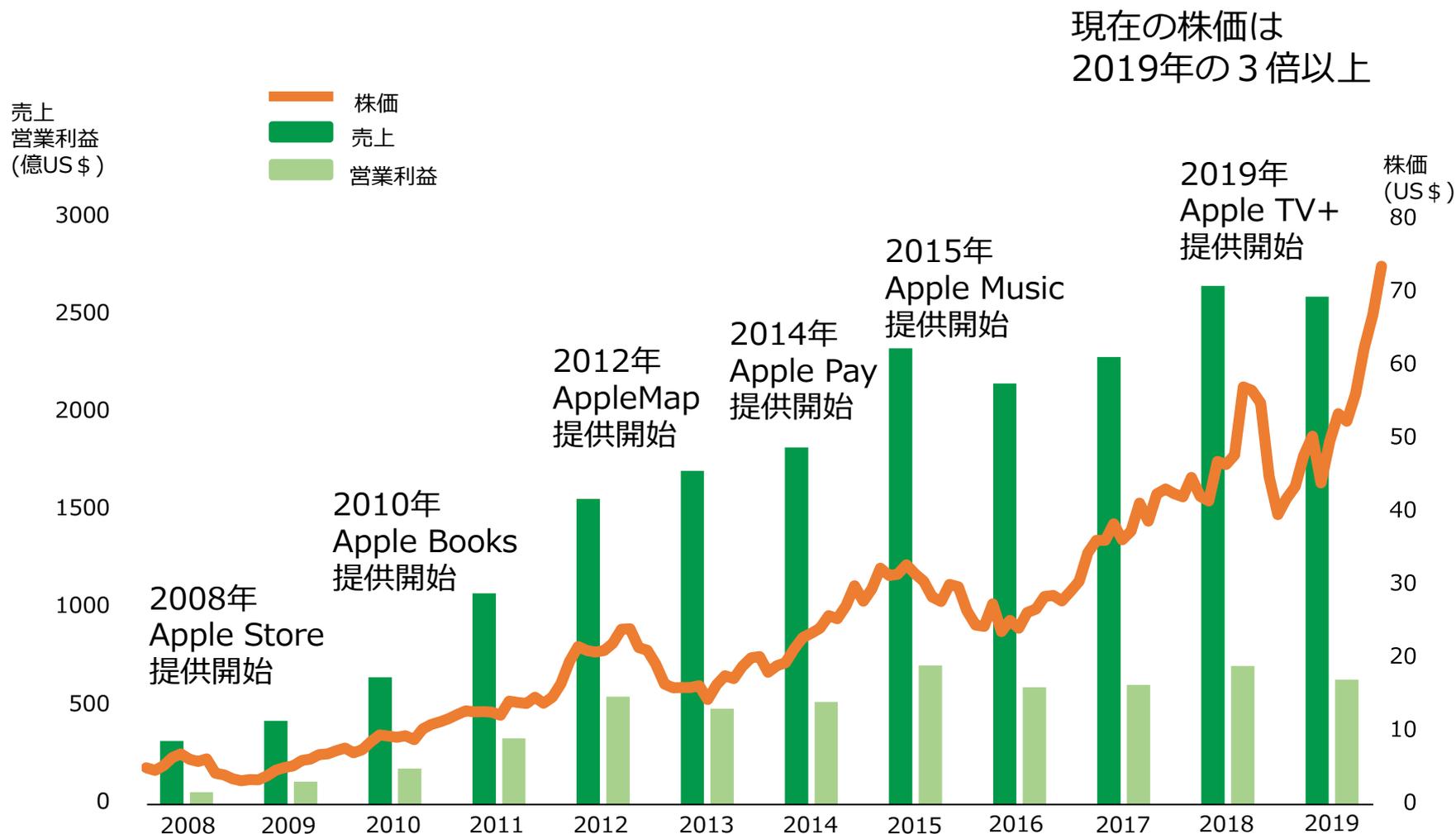
Apple Inc.

(イメージ図)



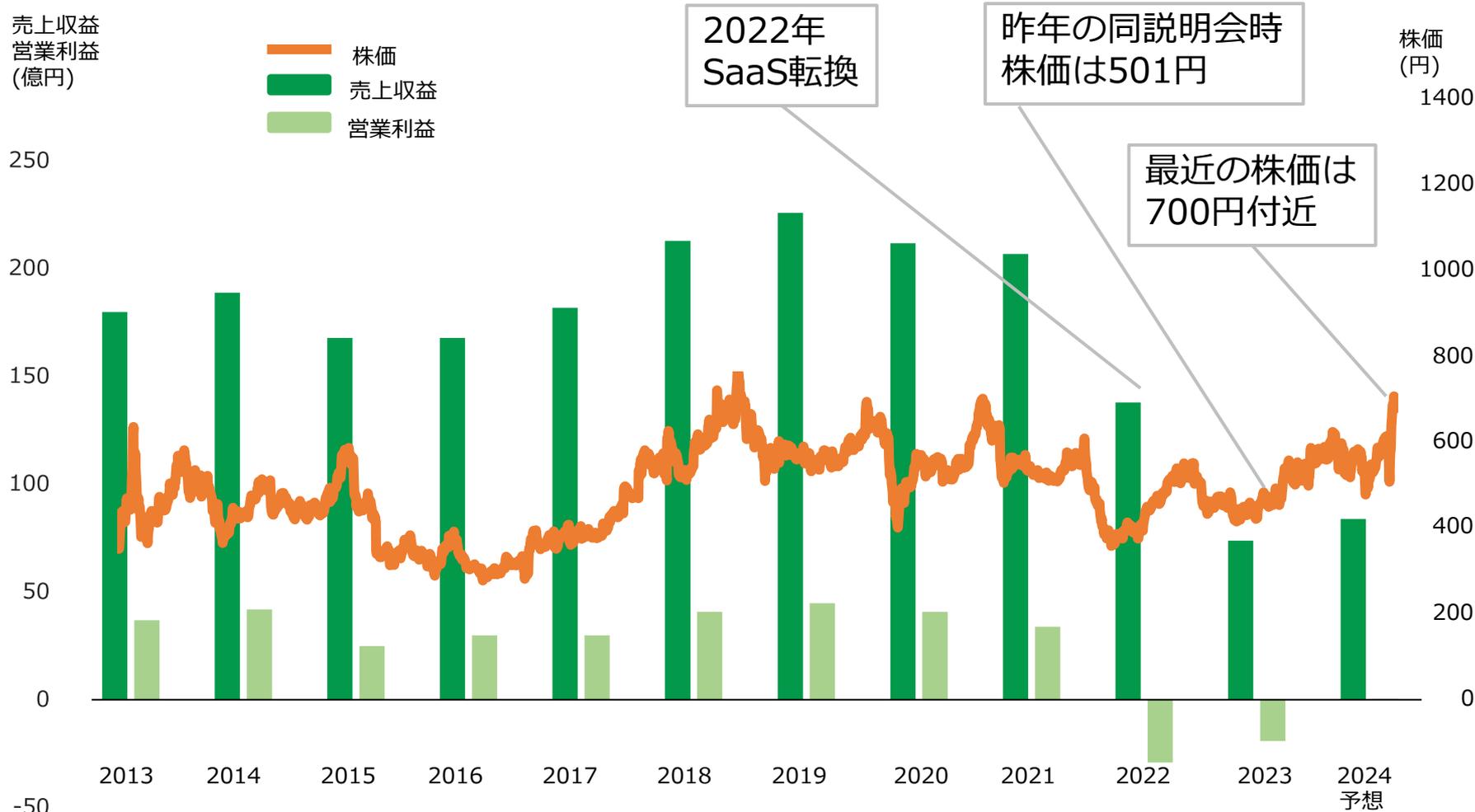
(3) 事業モデルを進化させた企業例②

Apple Inc.



(4) ブロードリーフの業績と株価推移

2022-23年は計画的な営業赤字、2024年から利益積上期に入ります
さらに経済圏を拡大し、事業モデルを進化させ、利益成長を加速させます



1	会社紹介	・ ・ ・	P 4
2	成長戦略	・ ・ ・	P10
3	株式投資の観点	・ ・ ・	P19
4	ご参考情報	・ ・ ・	P24

ご参考情報①

社会課題の解決につながるブロードリーフの事業活動

課題解決のテーマ

課題解決につながる企業活動

関連するSDGs



安心安全で快適な
移動社会の実現



自動車の点検や整備を適切に
行うためのITサービスの提供



新交通や物流事業者向け
ITプラットフォームの提供



資源の循環型利用の
促進



自動車リサイクル部品の
EC/EDIの提供



働きやすい社会の
実現



在宅・リモートワークの促進
(制度やインフラの整備)



アナリストレポート

- ① 当説明会運営のブリッジサロンさま提供のブリッジレポート

https://www.bridge-salon.jp/report_bridge/archives/2024/03/240306_3673.html



- ② SBI証券さま提供 アナリスト作成のアナリストレポート

SBI証券さまの証券口座を保有の方々は取得可能

2024年8月19日更新分：投資判断「買い」、目標株価1,000円

※ ①のブリッジレポートは印刷して、
ロビー内、会場入り口手前右側のテーブルに置いてあります。
ご来場者の投資家の皆様はお帰りの際に、ご自由にお持ち帰りください。

2024年12月期 中間決算説明 動画・資料

- ① 2024年12月期 中間決算説明会 動画：約30分

https://www.bridge-salon.jp/streaming/movie/3673_20240808.html



- ② 2024年12月期 中間決算説明会資料 一括ダウンロード 容量：1.4メガバイト

https://ssl4.eir-parts.net/doc/3673/new_release/10.zip



本資料に記載されている業績予想および将来の予測等に関する記述は、資料作成時点での入手された情報に基づき当社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

したがって、実際の業績はさまざまな要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

お問い合わせ先

株式会社ブロードリーフ

インベスターリレーションズ室

【E-mail】 bl-ir@broadleaf.co.jp